【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【公表番号】特表2008-519026(P2008-519026A)
【公表日】平成20年6月5日(2008.6.5)
【年通号数】公開・登録公報2008-022
【出願番号】特願2007-539653(P2007-539653)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　33/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/107　 (2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/28　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/14　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/30　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/24　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/06　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/14　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/18　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/08　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/10　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　33/00
Ａ６１Ｋ　 9/107
Ａ６１Ｋ　47/10
Ａ６１Ｋ　47/28
Ａ６１Ｋ　47/14
Ａ６１Ｋ　33/30
Ａ６１Ｋ　33/24
Ａ６１Ｐ　 3/02
Ａ６１Ｐ　37/06
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　29/00　　１０１
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　25/14
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　31/18
Ａ６１Ｐ　19/08
Ａ６１Ｐ　 3/10

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月23日(2008.10.23)
【手続補正１】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１００nm以下の水性コアを持つ逆ミセルの製造方法であって、
（ａ）（ｉ）ステロール、（ｉｉ）アシルグリセロール、好ましくは脂肪酸のジアシルグリセロール、（ｉｉｉ）水、特に精製水、および（ｉｖ）水溶性の金属カチオンを接触させ、
（ｂ）工程（ａ）で得られた混合物を４０℃以下で、逆ミセルが生成するのに十分な時間撹拌し、その撹拌を約１０００～約５０００ｒ／分の速度で機械的にまたは超音波処理により行うこと、
を含む方法。
【請求項２】
比Ｗ＝（水）／（アシルグリセロール）が、約２．５以下、より好ましくは１以下、より具体的には０．０１～０．２である、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
ステロールが、β－シトステロールである、請求項１または２に記載の方法。
【請求項４】
脂肪酸のジアシルグリセロールが、１，２－ジオレインおよび１－オレオイル－２－アセチルグリセロールから選択される、請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項５】
金属が、水溶性の塩を有する金属である、請求項１～４のいずれか一項に記載の方法。
【請求項６】
金属が、生体触媒活性を示す金属である、請求項１～５のいずれか一項に記載の方法。
【請求項７】
Ｗ比が、０．０５～０．１８である、請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項８】
混合物の撹拌が、約３０～３５℃の間で行われる、請求項１～７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項９】
金属カチオンが少なくとも２の酸化状態にあるカチオンを表す、請求項１～８のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１０】
金属カチオンが、亜鉛、ニオブ、バナジウム、セレン、モリブデン、クロム、アンチモン、スズ、金、ルテニウム、パラジウム、白金、リチウムおよびストロンチウムよりなる群の中で選択される、請求項１～９のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１１】
請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法により得られる逆ミセル。
【請求項１２】
薬学的に許容しうる担体中の請求項１１に記載の逆ミセルを含む、医薬組成物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
本発明は、また、１００nm以下の水性コアを持つ逆ミセルであって、
（ａ）（ｉ）ステロール、（ｉｉ）アシルグリセロール、好ましくは脂肪酸のジアシルグ

リセロール、（ｉｉｉ）水（特に精製水）、（ｉｖ）金属カチオンを接触させ、
（ｂ）工程（ａ）で得られた混合物を４０℃以下で、逆ミセルが生成するのに十分な時間撹拌し、その撹拌を約１０００～約５０００ｒ／分の速度で機械的にまたは超音波処理により行うこと、
を含む製造方法により得られる逆ミセルに関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
本発明に係る逆ミセルの製造方法
特定の実施態様において、本発明は、１００nm以下の水性コアが存在し、水溶性の薬学的に活性な金属カチオンを含む逆ミセルの製造方法であって、以下の工程：
（ａ）（ｉ）ステロール、（ｉｉ）アシルグリセロール、好ましくは脂肪酸のジアシルグリセロール、（ｉｉｉ）水（特に精製水）、および（ｉｖ）水溶性の金属カチオンを接触させ、ここで、比Ｗ＝［精製水］／［アシルグリセロール、好ましくは脂肪酸のジグリセリド］が、好ましくは約２．５以下であり、
（ｂ）工程（ａ）で得られた混合物を４０℃以下で、逆ミセルが生成するのに十分な時間撹拌し、その撹拌を約１０００～約５０００ｒ／分の速度で機械的にまたは超音波処理により行うこと、
を含む方法に関する。